

2021年7月30日

各 位

会社名	株式会社グローバルダイニング		
代表者名	代表取締役社長	長谷川 耕造	
	(コード番号7625 東証第二部)		
問合せ先	取締役 最高財務責任者	中尾 慎太郎	
	T E L : 0 3 - 5 4 6 9 - 3 2 2 2		

営業外収益の計上及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年12月期第2四半期連結会計期間において下記のとおり営業外収益を計上いたしました。また、2021年12月期通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

(1) 営業外収益の内容

商業施設内に出店している当社店舗における2021年1月から2021年4月の営業時間短縮に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金を「協力金収入」として営業外収益に計上いたしました。

(2) 計上金額

2021年12月期第2四半期連結会計期間 35百万円

2. 2021年12月期(連結)通期業績予想の修正(2021年1月1日~2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000~7,000	△500~0	—	—	—
今回修正予想(B)	9,484	781	913	1,023	99.24
増減額(B-A)	2,484~3,484	781~1,281	—	—	
増減率(%)	35.5~58.1	—	—	—	
(参考)前期実績 2020年12月期	5,667	△1,175	△1,102	△1,509	△147.56

<修正の理由>

日本国内では、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置下において、商業施設店舗以外で通常営業を継続していることなどから、売上高及び損益が当初予想を上回る見通しとなりました。

米国では、大型経済対策やワクチン接種の普及などから内需が伸びており、飲食業界においてはレストラン営業規制の緩和、解除が進み、経営環境が急速に改善しております。また、当社子会社レストランの屋外営業の好調が続いていることから、売上高及び損益が当初予想を大幅に上回る見通しとなりました。

これらの結果、現時点の動向を踏まえ、売上高、損益ともに上記のとおり修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上